

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2023年1月号（第166号）

発行責任者 中原 幹男

明けておめでとうございます

令和5年干支は「癸（みずのと）卯（う）」です

卯年の意味：卯（うさぎ）は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」。

また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。



玉上家の兎たち

写真提供：玉上 佳彦氏



新年のご挨拶

総務部副部長 大木 美和子

キリリとした寒さと共に新しい年を迎え、身も心も引き締まる思いがいたします。コロナ禍が始まって以来、不安を増幅するようなニュースが蔓延しておりますが、こころも体調も整えて心穏やかに過ごせる一年となりますように。

振り返ればこの3年間、世の中の動きが停滞を余儀なくされる中であっても、ところざわ倶楽部では従来以上に活発に様々な催しを通して活動を続けてまいりました。

現在、最先端の科学者たちは「人の意識は深いレベルで他者や社会といった集合的無意識とつながっている」と教えてくれています。そのことを意識しながら今年も「明るく 楽しく 元気を！」のスローガンのもと、歓びを持って目の前のことに向き合っていきます。

「とくに人生の後半は、日々を楽しまずに過ごすことはもったいない。人生後半の一日は値千金なのだから」とは江戸時代の学者、貝原益軒の言葉。私たち一人一人にとって充実した一年となりますよう祈念いたします。

子ども食堂 芋堀イベント（市民大学ファーム畑にて）



所沢の自然と農業サークル 鈴木 安弘

「11月12日土曜日10時から、親子でサツマイモの収穫体験をしよう（参加無料）」と謳い、コミュニティ広場『すずかめ』主催、市民大学ファームの会協賛として芋堀りイベントを楽しんだ。

ファームの会メンバーは朝早くから準備に忙しい。なにせ手伝いも含めた参加予定者は100名以上が予想された。結局記録された参加者名簿には、子ども42人、親32人、近隣人8人、市大ファーム含スタッフ30名、総勢112名となった。

いよいよ定時になり広場に集まって、いつも市大ファームが畑仕事の前にするラジオ体操をした。

そして、サツマイモ畑で収穫競争の始まりだ。

「アツツ、アツで美味しいね！」市大ファームに畑地を貸してくれてる伊藤家のおばあちゃんも来て、一緒に美味しくいただいた。また、伊藤家をはじめご招待した近隣の方々にも、こうした市大ファーム活動の一面を身近に思っ好意を持っていただければ幸いなこと。



「こども達には里芋より、大きな葉っぱが面白いんだろうなあ～」

所沢ブランドの里芋は、さすが絶品で、大鍋・寸胴で作った芋煮鍋は、お替りリピーターにより完売となった。お世辞抜きに本当に美味しかった。

「誰が一番大きいお芋ゲットできたかな？1等2等には素敵なプレゼントがあるよ！」サツマイモ掘りを終えたら小休止。

朝から炭焼きしてきたサツマイモが焼き上がった。（焼け焦げた芋もあったけど・・・）

＊市民大学ファームの会は、2014年、市民大学講師の東京農工大学淵野先生のお声がけにより、所沢の自然と農業サークル会員有志で立ち上げた市民グループ農園。地元市民も多く参加しており、その一人の鈴木安弘さんに協力して、2年前に柳瀬地区コミュニティ広場「すずかめ」が立ちあがった。



新サークルの提案（パソコン相談会の進化型として）

広報部長 玉上 佳彦

2020年から毎月2回続けてきたPC相談会を新たな体制で、正式なところざわ倶楽部のサークルとして発足させるために、以下の構想案をまとめましたので、皆様のご意見・ご提案をいただきたくお願いいたします。

1. サークル名称（仮名）
IT サロン、IT かけこみ寺、IT お助け隊、IT 研究会等
2. サークルの基本趣旨・目的
 - ・ところざわ倶楽部会員および市民大学受講生が、パソコンのスキルを向上して、会員間のコミュニケーションを図るための情報ツールを使いこなすお手伝いを通して、特に高齢者の生活の中でIT分野に関する充実を図ることを主目的とします。
 - ・これまで進めていた「PC相談会」は、新所沢公民館で毎月約2回程度行っていましたが、正式なサークルではなく、主として「アジア研究会」名で学習室5号を随時予約していました。
 - ・この状態だと、活動日が固定できず、毎回新所沢公民館学習室5号の空きのある日時しか予約できませんでした。→正式にサークル登録することで、公民館の正式予約ができるようになります。
 - ・これまで、無料のPC相談会としてきましたが、無料だと申し訳ないと躊躇されていた人や、何か手土産などを持参するなどの気遣いをする方々いましたが、遠慮なく来ていただくために少額ですが有料とすることにしました。尚、有料の費用に関しては、施設使用料などに充当します。
3. サークルメンバー
代表： 玉上佳彦
相談員：原田一成、仲山富夫、小田島禮子、中原幹男、ほか
4. 相談対象
ところざわ倶楽部会員および市民大学受講生に限定
5. 相談費用
原則として、 100 円／回
(但し、部品などの追加費用が発生する場合は実費負担をお願いします)
6. 相談内容（これまでに対応した相談内容）
 - ・Word、Excel、PowerPoint 作成、入力指導、メールの作成から送受信、各種パソコン操作上の疑問点、PC 買い替えのアドバイス、新規購入 PC のセットアップ、旧 PC からの新 PC へのデータ移行、画像処理方法、メールサーバーの処理、画像処理
 - ・スマートフォンに関する相談会は2ヶ月に1回程度で専門家の相談会を設定します
⇒スマートフォンを持参し、疑問点などについて、個別相談に応じます
7. 会則、会員名簿、会計報告などは今後準備します
8. 開始時期
2023 年 3 月頃を目標にスタートする予定です



環境問題シリーズ 第25章

2050 ゼロカーボンシティ所沢を目指して

～いよいよ“所沢環境市民の会”が立ち上がります～

地球環境に学ぶサークル

2020年10月、当時の菅首相が2050年までにカーボン・ニュートラルの実現を目指すことを宣言し、11月には所沢市藤本市長が「ゼロカーボンシティ所沢」を表明しました。これを受けて、「所沢の明日を考える市民フォーラム」「地球環境に学ぶサークル」「所沢市民ソーラー」の3市民組織は、“所沢市民による、所沢市民のための、所沢市民の「ゼロカーボンシティ」”実現に向けて、一昨年2021年12月から、世代を超えたディスカッションを開始しました。そして、今年2023年1月15日に所沢環境市民の会設立総会を開催するに至りました。

“所沢環境市民の会”は、高校生から社会人、シニア世代まで幅広く多様な市民が集まり、足元の所沢市の課題から地球環境改善に取り組みます。われわれシニア世代は、次の世代に残すべきものは何かをよく考え、今から行動を起こさなければなりません。

◆ 2021年12月5日（日）新所沢公民館

「ストップ！気候危機 討論集会」を開催し、学生、Z世代、子育て世代、シニア世代、事業者として生活クラブ役員、市議、市長、マチごとエコタウン推進課など、幅広い立場の方々42名が参加し、それぞれが気候危機と「ゼロカーボン」に対する取り組みの意志を表明し、問題の共有ができ、次回へ続く運動の起点となりました。



◆ 2022年4月10日（日）小手指公民館分館
「ストップ！気候危機」で所沢の未来をみんなであつくりよう市民会議準備会」を開催し、若者世代、市民組織メンバーや、市議、県議、衆議院議員も交え、みな個人として参加した47名が6グループに分かれ、環境問題意識や取り組み、今後の課題などをフリーに討議しました。



◆ 2023年1月15日（日）新所沢公民館

「Think Globally Act Locally 地球規模で考え+足元から行動する 所沢環境市民の会設立記念講演・総会」を開催します。

所沢市の目標ゼロカーボンシティの実現には、市と市議会、事業者、そして私たち市民が協同していくことが特に大切です。まさに今が“気候危機を食い止める最後のチャンス”。地球規模で考え、ともに行動していきましょう。ご参加をお待ちしています。



「世界の平和を考える」シリーズ第17回



岸田さん

これでいいの？

(防衛三文書)

吉田 麗

私は、優しい夫に恵まれて専業主婦を 53 年続けてきました。これまで、専業主婦は一般的に政治や経済に関心がないものと思われています。私は、市民大学の 18 期に入学して講師の先生や同級の仲間との交流で、世界に目を向けることがあり友人らとの会話で、常に政治・経済問題に関して興味を持って話題にしてきました。

防衛費増額

昨年からのロシアのウクライナ侵攻などの国際問題に関して他人事として、放っておくことができなくなっています。そのような中で、特に気になっているのは、岸田首相の防衛三文書です。国会審議をせずに、こっそりと閣議決定して、日本が戦争をする（あるいは仕掛ける）国になっていくのではないかと、非常に心配しています。日本には「憲法第9条」という世界でも稀に見る平和憲法があります。岸田首相はこの憲法9条をないがしろにして、日本が戦争に向かって行くための防衛費増額を計画しているのではないかと危惧します。昨年 12 月 18 日の共同通信の世論調査では、防衛費増額反対が 53.6%、賛成が 39.0%でした。日本人の多くの人が防衛費増額に反対しているのです。

男性はどうか分かりませんが、女性のほとんどは反対していると思います。それは、なぜでしょうか？自分の子供、孫たちに悲惨な戦争を経験させたくないからです。ロシアの婦人団体がプーチンの戦争に反対しているのも、自分の身近な家族が戦争に巻き込まれたくないという思いからです。



敵基地反撃能力

防衛三文書には、敵基地反撃能力を有するためにアメリカのトマホークなどのミサイル購入を計画しています。政府は明言していませんが、この場合の、敵（敵国）

は、北朝鮮、中国、ロシアと予想されています。私達には理解できない北朝鮮はともかくとして、中国やロシアと戦争するつもりなののでしょうか。あまりにも現実離れしているため、私には理解できません。岸田さんは本気で考えているのでしょうか？防衛費増額でなくて、岸田さんに必要なのは外交努力ではないでしょうか。

食糧危機

ロシア・ウクライナ戦争によって明らかになった食糧危機は、小麦価格の高騰を招き、ロシア・ウクライナ産小麦の消費国（アフリカ・中近東諸国）に危機的な飢餓が心配されています。日本は、食料自給率が先進国では、37%と最低レベルです。これまで、政府は、食料は輸入に頼ればいいと考えていたのですが、このままでいいのでしょうか？所沢でも耕作放棄地が増え続け、高齢化による農業者が減少しています。将来の日本の食料は大丈夫なのでしょうか？私は、生活クラブ生協の会員で

すが、その機関紙などに隔々まで目を通し、現在の日本の食料の抱える諸問題などについて心配しています。



まとめ

私は岸田首相が防衛費増額・武器輸入を考える前に、唯一の戦争被爆国日本が、今やらなければならないことがたくさんあるのではないかと思います。

例えば、先進国で最低レベルの教育費の増額、気象変動対策、老朽化した原発の再稼働を止め、再生可能エネルギー対策など、日本が後れをとっている分野に予算を計上しておくべきではないでしょうか？

そのような意味で、私は、**防衛三文書に反対**です。

サークル活動報告

新たな民話づくりにチャレンジ！

民話の会

薄井 文子



豚ノ越地蔵（絵 山本苗子）

たぬきど〜ん ♪
（絵 田中健夫）

いところで、自分のアイデアが生かされ台本になることで愛着も語る気持ちも違います。

絵の制作もオリジナル！専門のスタッフがメンバーに加わってくれました。どんな民話が出来上がるか乞うご期待です！

「民話の会」に久しぶりに新しいメンバー3名が入会されました。

今まで勧誘の会でお誘いしても民話は興味があるけれど人前に立つのはちょっとね〜と敬遠される方が多かったのです。9月の「ところざわ倶楽部まつり」を見て、やってみたいと思った方が市民大学28期修了生にいらっしゃいました。久しぶりの「まつり」の舞台でメンバーみんなで楽しみながら頑張った甲斐がありました。

そして、12月例会で新年度の目標を相談したところ、4月に予定している「民話の由来地めぐり」は山口地区に決まり、現地の民話のうち「車返しの弥陀」の脚本づくりに決まりました。やはり、今までの持ちネタの民話を繰り返し練習するよりも、毎年の「まつり」に新たなオリジナル民話を発表することは大きなチャレンジです。いきいきわくわくして高齢者に一番「元気の源」です。メンバーひとり一人の知恵を寄せ合い、セリフを練って、何度も修正することはかなりの時間がかかります。でも、その過程が一番大事にした



河童のお伊勢参り（絵 新井智子）



たにしのやせ我慢（絵 田中健夫）

もうひとつ所沢市民活動支援センターでの活動

所沢シニア世代地域デビュー支援の会

田口 元也

本会が発足してから間もなく9年になろうとしております。シニア世代が地域で社会参加活動へ踏み出すためのサポート活動をめざして、多様な活動に取り組んできました。しかし、新型コロナ禍にあって支援活動は自粛を余儀なくされ、毎月1回、会員と2名のオブザーバーによる定例会を開催し「わたしたちの2025年問題」として、身近な問題から時事問題まで、さまざまなテーマで話し合いをしております。今年度もしばらくはこの形式で話し合いを深めていきたいと思っております。

いっぽう本会は、所沢市市民活動支援センターに組織登録しておりますので、そこでの活動を紹介したいと思います。活動支援センターは、まちづくり、福祉、教育、国際交流、文化、環境、スポーツなど、あらゆる分野



の公益的な市民活動を支援するための施設で、所沢市内のNPO法人やボランティア団体約140団体が登録しております。毎月「連絡会議」が開催され、各団体の近況報告や、センター主催の行事や講座の案内などについて話し合わせ、市民活動の様々な情報の発信や各団体の交流の場となっております。

今年度は3年ぶりに「第8回市民活動支援センターまつり」（9月4日）が開催され、本会はSPのチアダンスを披露しました。

また、この2月27日（月）～3月1日（水）の3日間、所沢市役所1階市民ホールにて、市民、行政、企業と市民活動団体とのつながりの場として「市民活動見本市」（パネル展示）が行われます。各団体の活動をPRする催しですので、ぜひ一度この期間にお足をお運びいただければ幸いです。私たち後期高齢者を迎えるサークルですが、なんとか運営困難を乗り越え頑張っていきたいと思っております。

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

1月18日(水)13:00～16:00 中央公民館8・9号室 定例会
 テーマ: 松尾会員による「英国よもやま話」
 2月22日(水)13:30～16:00 中央公民館8・9号室 定例会
 テーマ: 未定

2. 楽悠クラブ (田村 健一郎 2949-3434)

1月17日(火)13:15～16:30 中央公民館3階8・9学習室
 ミュージカル映画「王様と私」
 2月27日(月)13:15～16:30 中央公民館3階8・9学習室
 プッチーニ歌劇「外套」
 プッチーニ歌劇「修道女アンジェリカ」

3. 食を通して所沢を知る会 (岡部 まさ子 080-5872-1868)

1月24日(火)10:00～ ふらっと
 定例会 「今年度の計画」話し合い
 2月28日(火) 定例会

4. 地球環境に学ぶ (小田原 一博 080-6537-2670)

1月13日(金)10:00～12:00 新所沢東公民館、読書会
 「レポート2030、グリーン・リカバリと2050カーボン…」第2回
 1月17日(火)9:00～11:00、新所沢東公民館、月例会
 環境討論会テーマ検討、他

5. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)

1月11日(水)13:15～15:00 中央公民館1階学習室3号
 定例会 テーマ「私たちの2025年問題」～今年の抱負を語ろう～
 シニア世代の共通の話題をみなさんと話し合いましょう！
 〈スマイルパイレーツの練習日〉見学大歓迎！
 1月14日(土)13:30～16:00 中央公民館 8・9号室
 1月28日(土)13:30～16:00 生涯学習推進センター 多目的室

6. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 090-5530-4703)

1月7日(土) 8:30～ 陽子ファーム落ち葉掃き
 1月12日(木)13:00～15:00 定例会 新所沢公民館6号室
 1月14日(土)9:00～ 伊東農園枯れ枝拾い
 1月17日(火)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア活動
 1月21日(土)8:30～ 伊東農園落ち葉掃き
 1月27日(金)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア活動

7. 野老澤の歴史をたのしむ会 (栗屋 貴夫 090-2746-9840)

1月19日(木)9:30～13:00 中央公民館料理教室
 「地産地消調理講習会」小林先生
 2月2日(木) 小手指駅南口集合→「埋蔵文化財センター」
 →「北野天神」12時解散(予定)
 2月16日(木) 中央公民館8・9号室
 「市民大学28期グループワーク発表会」(予定)

8. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

1月21日(土)10:00～12:00 中央公民館3号
 「ヴェニス商人」朗読
 2月11日(土)10:00～12:00 中央公民館3号
 「ヴェニス商人」朗読
 2月18日(土)10:00～12:00 中央公民館3号
 「ヴェニス商人」朗読

9. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

1月24日(火)10:00～12:30 西新井町会館
 喜劇「男はつらいよ」第24作 ～寅次郎春の夢～香川京子
 季節の歳時記 『疫病退散「まゆ玉飾り」』実施
 2月14日(火) 邦画「お茶漬の味」
 小津安二郎の映画の世界 大いに覗きにきてください！

10. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

1月23日(月)13:30～ 子どもと福祉の未来館・多目的室2号
 NPO法人代表理事で会員、泉志津子氏の講座
 「頭の体操」と「改正介護保険について学ぶ」
 2月27日(月)13:30～ 子どもと福祉の未来館・多目的室4号
 鶴野沢実豊氏による12月定例会に続いて「脳」関連の講座

11. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

1月16日(月) 新所沢東公民館 研修室2号
 テーマ: 「総会 今期の計画づくりと自由討議」
 各Gリーダーの今期計画発表と各グループ討議
 次回: 2月20日(月) テーマ未定

12. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

1月27日(金)10:00～13:00 こどもと福祉の未来館
 多目的室3号(3階) 定例会
 児童館、小学校、老人ホームでの「民話のお話会」再開にむけて、「河童の詫び証文」「とんぼの宿り木」の読み合わせを行います。
 2月17日(金) こどもと福祉の未来館 定例会 民話語り。

理事会報告

2022年12月12日、新任理事も参加し、第16期第1回理事会が開催され、定期総会の反省、改善策について議論されました。
 又、「明るく 楽しく 元気を！PART2」の今期活動方針のもと、計画事業の推進体制と、検討課題について活発な議論がされました。
 第2回理事会は、年初に当たりコロナ禍と高齢化など「各サークルの課題」をテーマに取り上げ議論される予定です。

2023年の理事会日程は、以下の通りです

1月16日(月)、2月13日(月)、3月13日(月)
 4月10日(月)、5月15日(月)、6月12日(月)
 7月10日(月)、8月は休会、9月11日(月)、
 10月16日(月)、11月13日(月)、12月11日(月)
 第2回理事会は、2023年1月16日(月)10:00～12:00
 新所沢東公民館講堂で開催予定です。

みんなの広場 第43回

脳活サークル 森井茂吉



森井氏自作の鉛筆画

2023 年 — 新年に向けて—

明けましておめでとうございます。
 ほぼ 3 年間に渡りコロナウイルスに翻弄されて
 いますが、もうそろそろコロナウィルス
 を撲滅し、マスク無しで話したいですね。

さて、昨年もところざわ倶楽部会員の皆様と新しく入会された
 皆様との出会いで有意義な年でした。アジア研究会、楽悠コーラ
 ス、脳活、シニア所沢、パソコン教室などで活動できました。ア
 ジア研究会ではアジア諸国の現状などを諸先生方に解説いた
 だき、諸外国の旅紀行の話もしました。楽悠コーラスではパソ
 コン、YouTube を駆使し、オペラ、歌、演奏を F 氏の解説付で楽
 しました、コーラスはところざわ倶楽部まつりで参加、S 先生
 の指導の上手さと A 氏の美声に驚きました。そしてパソコン教室
 の T 氏、大変面倒をお掛けしていますが、上達が遅いと思ってい
 ます。

ところざわ倶楽部以外に絵画の展示会に参加しました、色鉛筆
 を使った絵でしたが何とか仕上げる事が出来ました、色鉛筆でも
 深さを表現できるということですので続けて行きたいと思いま
 す。

以上、皆さん自分も含め年を重ねていますが。フレイル予防に
 心掛け、毎日を楽しく送りましょう。

今年もよろしくお願いします。

「自由題」
 昼下りひと時の陽に舟をこぐ
 お出掛けの度に体が若返る
 終活で夫の自立その一つ
 喜寿の会半信半疑案内状
 対策は補助金出せばことは済む
 いつの間に妻ら大盛我小盛

ど う し
 りんご好き
 突 拍 子
 縄 文 人
 丘の河童

課題「洗う」
 洗い方上から目線で指図され
 手と足の洗う意味合い大違い
 歳を取り手袋嵌めて皿洗い
 イモ洗い温泉地での風物詩
 アクセルの踏み違い増え靴あらう
 キャッシュレス時代に勝てぬ銭洗い

ど う し
 りんご好き
 突 拍 子
 縄 文 人
 海さとり
 ど う し
 突 拍 子

川柳「八十」 作品発表 選

中島峯生

次回（第81回）課題「昼寝」そして「自由題」

締切り日：1月20日、担当中島まで、どなたでも

宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp Fax 04-2928-1161

むさし野俳句会（令和四年十二月）作品抄

バリガシヤと踏み倒されし霜柱
 処方箋一枚増えて年暮るる
 纏振る気風を買ひて飾買ふ
 柚小屋にどぶろくのある昭和かな
 しぐるるや手打ちうどんの具沢山
 ことごとと鯉の甘露煮冬籠
 ポインセチアみなスイングすミニライヴ
 宮本 信生 山彦を山に返して山眠る
 井出 昇 冬紅葉写経机に映り込み
 海老澤愛之助 アロエ咲く伊豆にペリーの小径かな
 佐藤 八郎
 白神 恵子 火吹竹耳に鼓膜といふ器官
 高梨 千代 初雪や三年ぶりのきょうだい会
 中嶋 弘子 ひらひらと冬日を散らす尺蛾かな
 橋本 佑子 荒幡千鶴子
 小林 典子 平栗 彰子
 鈴木 征子 田沼 幹子

問い合わせ 佐藤八郎 2942-8247 荒幡千鶴子 2922-0318

《編集後記》

“Think Globally, Act Locally”
 地球規模で考え足元から行動する

先月 12 月号の広場に、地球環境改善チェックシー
 トの集計結果が掲載されました。それによるとこの 1
 年間では、行動変容がほとんど見られません。（平均点
 60.4⇒62.2 点）自己評価 1-3 位の方の点数が 90 点
 前後であることを考慮すると、多くの人がまだ環境改
 善行動を起こしていない、あるいは、一部起こしてい
 るが全般的にはまだまだこれからの状態（“ゆでガエル”
 ＝環境問題に関心はあるも、自分事として行動に
 至っていない）だと考えられます。

2050 カーボンニュートラルを達成するためには、あ
 と 8 年後の 2030 年までに CO2 排出量を 2013 年比約
 4-5 割削減しなければなりません。そのために、地球
 環境問題を他人事と思わず、身近な問題として一人一
 人が取り組んでいけば達成できると思います。

（中原記）

「広場」問合せ 玉上 佳彦（090-2497-1076）